

# 令和元年度事業結果報告概要

## 概 要

年号が『平成』から『令和』へと移り変わり、門真市シルバー人材センターでは、請負・委任と派遣の事業を合計した売り上げが6億8千5百万円、会員数も1,696人と過去最高の実績で終えることとなりました。

当センターは一年間を通して、いきがい・働き甲斐を旗印に多くの高齢者が組織的に地域に貢献する事業として戦略的に取り組み、門真市の地域特性を生かした先進的なシルバー人材センター事業の成功事例『かどまモデル』の構築を目指し、これを全国に発信してまいりました。

少子・高齢・人口減少社会が益々進む我が国で、定年延長等高齢者の労働環境が大きく変化する中、当センターは、地域を支える有償ボランティアとして、不足する労働力を補完する社会資源として期待され、これに応じてまいりました。過去最高の人出となった第3回ふるさと門真まつりの参画や、9千人を超える来場者を迎えた弁天池公園の秋の恒例イベント「ふれ愛感謝祭」を開催等、多くの市民の方に当センター事業の周知に努めてまいりました。また、普及啓発の窓口を増やし、シルバー人材センターでの働き方（健康寿命の拡大、労働力の活用、地域社会貢献）を広く周知し、各個人に応じたライフスタイルの提案に努めてまいりました。

このような中、来る令和2年度は、センター設立40周年を迎え、東京オリンピックの開催と相まって、センター事業のさらなる飛躍の年とする為に記念事業の準備を進めてまいりました。しかしながら、年末に発生した新型コロナウイルスの感染拡大とその拡大防止の為の行動自粛、世界的な感染拡大、この影響で景気が後退局面を迎えており、今後センター事業の先行きも不透明な状況に至っております。

なお、本年度の活動の内容及び結果を、以下の通り報告します。

- 【1】 色々なアプローチで会員の皆さんの活躍する姿を市民に見ていただく試み「魅せる広報」の充実を図りました。タウン誌やホームページ、ソーシャル・ネットワーク・サービスやマスメディアを活用した発信を行い、入会の動機づけにつなげました。
- 【2】 就業機会を拡大する取組みとして、請負・委任による就業・労働者派遣事業・職業紹介事業の基本の三業務を有効に活用し、多様な職種の開拓に努めました。また、当センター自主事業として、「介護保険事業」・「新総合事業」・「第2層生活支援事業」・「福祉有償運送事業」・地域交流サロン「つどエール」等の福祉関連事業、「弁天池公園」の市指定管理事業、喫茶「チエブクロー」等の独自事業、就業機会創出拡大事業として「介護予防福祉作業所『ハッピーエール』」・「伝統野菜栽培促進事業」を実施し、新たな会員の就業機会の拡大に努めました。
- 【3】 普及啓発活動を推進する取組みとして、センターが主催する「弁天池公園スプリングカーニバル・ふれ愛感謝祭」、「シルバー便利やDay」等を開催し、事業の普及啓発に努めました。また、「第3回ふるさと門真まつり」「プラザ de 門真もん市」「古川橋ラブリーフESTA」等、市内外で開催される多くのイベントの実行委員会に参画し、多

くの会員の動員力を生かした地域活性化に貢献しました。

地域の事業所や個人商店の協賛を得て「シルバーフレンドリーショップ」やイオン古川橋駅前店での「就業相談所」「出張便利や Day」を開催しました。

各種イベントの運営協力、清掃奉仕活動や大阪マラソンなど、積極的なボランティア活動を実施しました。

【4】公益社団法人としてのガバナンスの徹底を図る取り組みとして、国・府・市からの適切な指導の下、定款や諸規定に準拠した事業運営に努めました。

【5】安全、適正就業の取り組みについて、事故ゼロを目指して、安全就業推進委員による「安全パトロール」、門真警察署の協力を得て「自転車安全講習会」を実施しました。また、全会員の受講を必須とする適正就業特別研修会を開催し、適正な就業や就業の質・会員のモラルの向上を図りました。

【6】法人組織の活性化を目指して、理事会を中心とした組織運営に努めました。「組織」・「就業開拓」・「普及啓発」の専門部会と個々の委員会が連携し、「会員を増やす」・「就業機会の拡大」・「普及啓発活動の推進」に努めました。また、迅速な事業運営を図るため、理事会に補完して毎月「三役部会長会議」を開催、情報共有に努めました。

【7】描け未来 次の十年への取り組みとして、中長期計画『設立40周年記念へのマスタープラン』の進捗状況を検証しました。また、次の10年に向けての第二期の中長期計画策定準備に着手しました。

なお、具体的な事業数値目標に対する結果及び具体的に実施した事業については、以下の通り報告します。

## 1. 事業数値目標に対する結果

本年度の数値に対して、以下の結果となりました。

	事業数値目標	令和元年度結果	達成率 (%)	対前年
①正会員数	1,750	1,696	96.9	+21
新入会員数(人)	300	215	71.7	-23
②契約件数 受託事業(件)	6,000	4,845	80.8	-650
派遣事業(件)	370	397	107.3	+121
③契約金額 受託事業(千円)	415,000	408,818	98.5	-13,023
派遣事業(千円)	285,000	275,980	96.8	+27,922
④就業率 (%)	90	86.1	95.6	-3.9
⑤就業実人員受託事業(人員)	1,350	1,295	95.9	-50
派遣事業(人員)	420	453	107.9+	+32

## 2. 具体的に実施した事業

## 【1】会員数を増やす

1、入会説明会は、以下の通り開催しました。

①センター大会議室	12回開催	参加者数	145名
②市民プラザ	10回開催	参加者数	49名
③弁天池公園	11回開催	参加者数	45名

2、魅力あるセンターづくりに努めました。

- ①多様な就業機会の創出
- ②生きがい地域参画機会の創出
- ③公認同好会の承認と活動の支援
- ④『シルバーフレンドリーショップ』登録店舗数65店舗（新規獲得店舗7店舗）

3、会員口コミによる入会促進活動に努め、2名が入会しました。

4、在会5年、10年の聞き取りアンケートを実施し、会員の現状把握と退会の抑制に務めました。

- ①平成21年度入会対象会員 48名、実施者 45名
- ②平成26年度入会対象会員 130名、実施者 124名

5、女性活躍委員会を中心に女性の会員拡大や就業機会拡大に取り組みました。

- ①ホウ酸団子作り 受講者数 24名（実施曜日） 5月23日
- ②レンコン染め物講習会 受講者数 4名（実施曜日） 10月21日
- ②料理講習会 受講者数 25名（実施曜日） 10月24日
- ③お菓子作り講習会 受講者数 24名（実施曜日） 12月19日

6、各種イベントの開催時にPRブースを設け、積極的に入会の促進を図りました。

- ①シルバー便利やDay 23回開催
- ②プラザde門真もん市 10回開催

7、ホームページのリニューアルやメディアによる媒体での情報発信を図りました。

- ①市広報紙に会員募集記事掲載（8月号・12月号）
- ②FM HANAKO への出演 3回
- ③週刊大阪日日新聞へ就業紹介の記事掲載 6回

## 【2】就業機会を拡大する

### (1) 就業の種類・量の増強

#### 1. 受託事業（請負・委任による就業）

##### 技能群

	就業延人員（人日）	受託件数（件）	契約金額（千円）
平成30年度	3,620	1,147	36,513
令和元年度	2,378	927	23,976
前年対比達成率（%）	65.7	80.8	65.7

##### 軽作業群

	就業延人員（人日）	受託件数（件）	契約金額（千円）
平成30年度	54,604	1,087	178,821
令和元年度	53,034	1,098	176,837
前年対比達成率（%）	97.1	101.0	98.9

- ①既存の契約内容の適正就業を再点検し、改善に努めました。
- ②職種ごとに内容を検証し、就業機会の拡大や質の向上を図りました。
- ③適正就業特別研修会を開催し、1,214名の会員が受講し適正就業、就業の心得・マナー等のレベルアップに努めました。

#### 2. 労働者派遣事業

- ①製造工程や自動車運転等の職域分野を重点に派遣就業の積極的に開拓に努めました。

##### 製造分野

	就業延人員（人日）	受託件数（件）	契約金額（千円）
平成30年度	3,317	10	19,156
令和元年度	5,797	37	36,430
前年対比達成率（%）	174.8	370.0	190.2

##### 自動車運転の分野

	就業延人員（人日）	受託件数（件）	契約金額（千円）
平成30年度	7,439	49	38,913
令和元年度	6,030	44	39,686
前年対比達成率（%）	81.1	89.7	102.0

②派遣就業に従事する会員に対し就業訓練を行いました。

入職時訓練 112名の実施  
キャリアアップ教育訓練 233名の実施

### 3. 職業紹介事業

直接雇用を希望する発注者及び会員に対し職業紹介事業を実施したが契約は未成立でした。

### 4. 訪問介護事業・総合福祉事業

①介護保険事業所として訪問介護事業実施しました。

	就業延人員（人日）	受託件数（件）	契約金額（千円）
平成30年度	2,137	240	6,514
令和元年度	1,871	191	5,508
前年対比達成率（%）	87.6	79.6	84.6

②くすのき広域連合主体の新総合事業。また、地域支援に必要な講習会に5名が受講しました。

	就業延人員（人日）	受託件数（件）	契約金額（千円）
平成30年度	1,091	189	3,559
令和元年度	1,330	233	4,126
前年対比達成率（%）	121.9	123.3	116.0

③福祉有償運送事業に努めました。

	就業延人員（人日）	受託件数（件）	契約金額（千円）
平成30年度	2,409	2,284	2,151
令和元年度	1,960	1,905	1,779
前年対比達成率（%）	81.4	83.4	82.7

④第2層生活支援事業を実施した結果、市内の全圏域で、延べ4,300名の市民が参加し「いきいき百歳体操」の普及啓発や傾聴活動に努めました。

5. 弁天池公園の指定管理事業者として、適正な運営管理に努めました。また、弁天池公園の普及啓発活動の一環として、「スプリングカーニバル（4月29日）、ふれ愛感謝祭（11月23日）」を開催し、過去最高の来場者数となりました。

6. センターが自主で事業を実施している、喫茶「チエブクロー」や地域交流サロン「つどエール」の事業や、作業所「ハッピーエール」の運営、市民農園の運営管理など、

公益性の高い事業運営に努めました。

7. 地方公共団体や商工団体等と連携して、地域企業の雇用問題の解決、地域企業の活性化、地域社会・経済の維持・発展等につながる新たな就業機会を創出する事業として、「伝統野菜栽培促進活用事業」「福祉作業所で育児支援・地域交流・世代間交流活性化事業」を実施しました。

「伝統野菜栽培促進活用事業」（レンコン・クワイを栽培し、イベントでの販売）

	就業延人員（人日）	契約金額（千円）
平成30年度	336	41
令和元年度	837	440
前年対比達成率（%）	249.1	1073.2

「福祉作業所で育児支援・地域交流・世代間交流活性化事業」

（介護予防の福祉作業所で軽作業の実施）

	就業延人員（人日）	受託件数（件）	契約金額（千円）
平成30年度	684	30	578
令和元年度	1,482	60	1,345
前年対比達成率（%）	216.7	200.0	232.7

## （2）就業の質の向上

### 技能研修会の参加

- ①大阪府シルバー人材センター協議会河北ブロック地区主催の植木剪定技能講習2名の会員が参加しました。また、センター独自で実施した除草講習会に20名の会員が参加しました。
- ②大阪府シルバー人材センター協議会が主体とする接客講習をセンターが運営する喫茶「チエブクロー」で実施し、6名の方が参加しました。

## 【3】普及啓発活動を推進する

- （1）センター主催イベントや各種団体等のイベントへの参画に努めました。また、センターの活動や主旨が広範囲に浸透する工夫を凝らした普及啓発活動に努めました。

### 1. センターが主体とする普及啓発活動

- ①弁天池公園イベント実行委員会を組織し、指定管理施設「門真市立弁天池公園」で、イベントを開催しました。

スプリングカーニバル 来場者数 5,148名 4月29日開催

ふれ愛感謝祭 来場者数 9,348名 11月23日開催

②清掃ボランティア活動として、市内全域の美化活動に努めました。

弁天池公園清掃活動 参加者数 827名 12実施回数

市内美化活動 参加者数 577名 12実施回数

③門真市役所ロビー啓発活動を実施しました。

門真市役所別館普及啓発活動 23回実施

④その他普及啓発活動推進を推進しました。

イオン古川橋店での普及啓発活動 5回実施

2. 「第3回ふるさと門真まつり」、「プラザde門真もん市」へ参画しました。

3. 地方公共団体や、市民団体、企業団体、NPO等が開催する事業に協賛し、普及啓発活動に努めました。

(2) 機関紙やマスメディア、またはソーシャルネットワークを駆使した広報活動を図りました。

1. 機関紙「門真市シルバー人材だより」の発行を10月号広報に折込し、全世帯に配布いたしました。

2. 各種マスコミやケーブルテレビ『J:COM』や『FM-HANAKO』等に積極的に出演しました。

3. 年6回週刊大阪日日新聞に会員の活躍状況や入会案内などの広告を掲載しました。

4. ホームページに最新情報を掲載し、シルバー事業の活躍を公開しました。

(3) 清掃やイベント協力、ボランティア活動を実施し、普及啓発の周知に努めました。また、地域の安全ボランティア活動として、青色防犯パトロール活動を実施しました。

(4) フレンドリーショップの活用

1. フレンドリーショップの加盟店として、新たに7店舗の協力を得ることが出来ました。

2. フレンドリーショップ加盟店相互のコラボレーション商品の開発など、マッチングに努めました。

3. 既存加盟店での会員の利用率増加・就業機会の開拓に努めます。

#### 【4】公益社団法人としてのガバナンスの徹底を図る

1. 法令遵守と諸規程の整備、遵守に努めました。また、理事会に審議案件21件を上程し、議決しました。

2. ホームページの掲載、事務所掲示板への開示及び情報公開資料の設置など情報公開に努めました。
3. 個人情報保護方針に基づき個人情報保護に努めました。

## 【5】安全・適正就業を推進する

1. 無事故就業目指し、安全就業の推進に努めました。
  - ①門真警察署等の協力を得て、自転車運転講習会を開催した結果、214名が受講しました。
  - ②自動車安全運転の講習を実施し、60名が受講しました。
  - ③安全就業推進委員会による現場立ち入り安全パトロールを38件実施し、安全対策に努めました。
  - ④各講習会・研修会の際に救急救命講習を開催し、職場の安全性を高めました。
  - ⑤事務局通信等で周知し、自転車保険の加入の呼びかけを行いました。
  - ⑥結果として、傷害事故件数0件、賠償事故件数1件、労災（派遣事業）事故件数4件となりました。また、事故の再発防止のため、事故事例の検証を実施し、事故事例の公開と再発防止に努めました。
2. 適正就業を推進しました。
  - ①『適正就業ガイドライン』の周知徹底に努めました。
  - ②就業の現況調査と契約内容の再チェックを実施し、適正な情報管理に努めました。
  - ③就業の適正化とモラル向上、就業の質の向上を目的とした、全会員対象とした適正就業特別研修会を開催し、1,214名が受講しました。
3. 健康管理、健康診断の推進を図りました。
  - ①事務局通信等で市民健康診査の受診を周知しました。
  - ②会員の心得を遵守し、自己の健康管理に努め、健康な状態で就業するように啓発しました。

## 【6】法人組織の活性化を目指す

1. 理事会
  - ①公益社団法人としての組織運営の活性化に努めました。
  - ②理念を現実にする最高の執行機関として、総会で2件の審議案件を上程し、全ての案件が決議されました。
  - ③公益認定委員会や国、府、市の指導に従い、コンプライアンスの徹底を図り、法人



組織運営に努めました。

- ④先進的な取り組みを進める松山市、尾道市、仲善広域S Cの3センターに訪問し、センターが抱える問題点の具体的な改善点を視察しました。

## 2、三役部会

- ①理事長、副理事長、専門部会長で毎月15日に会議を開催し、迅速な事業運営に取り組みました。
- ②「組織部会」、「就業開拓部会」、「普及啓発部会」を中心とし、具体的事業内容の連絡調整に努めました。
- ③審議案件を事前協議し、立案をしました。

## 3、各種委員会

- ①「安全就業」「適正就業」「女性活躍」「清掃ボランティア」「イベント推進」の具体的目的を有した委員会を運営し、活性化に努めました。

## 4、事務局体制の充実

- ①定款や諸規定、理事会の議決に従い、迅速かつ的確な業務運営の遂行に努めました。
- ②公認会計事務所の指導の下、公益会計基準に準拠した適正な会計処理に努めました。

## 5、法人運営を活性化する取組

- ①『設立40周年へのマスタープラン』の検証を行いました。
- ②設立40周年記念事業実行委員会を中心に事業実施に向けた運営に努めました。
- ③職域班活動の取り組みとして、技能のレベルアップ、見積金額の統一、事務の合理化などの取組みを図りました。また、地域班組織を現4ブロック17の班体制から門真市が推進している地域会議の範囲をセンター地域班として、活動範囲の変更を検討してまいりました。

- 6、理事及び監事候補者の推薦公募を実施する等役員候補者選考委員会による人材の発掘を行い、次期改選に向けた準備を行いました。

## 【7】描け未来、次の十年へ

### 第二期中長期計画の作成

センターを取り巻く環境が大きく変化する中、第2期中長期計画作成に向けて、外部の有識者を迎えた策定委員会の立ち上げに着手しました。